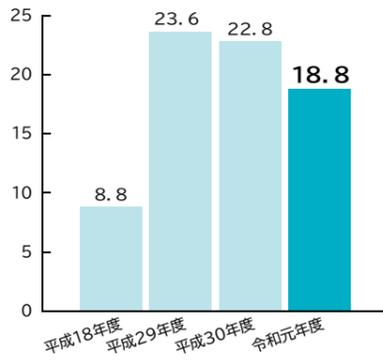


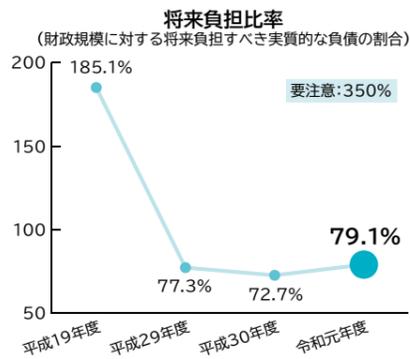
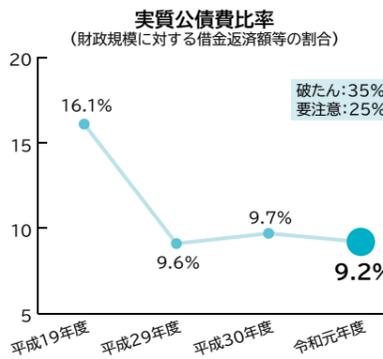
財政調整基金の状況

財政調整基金(貯金)残高の推移 (単位:億円)



にかほ市の貯金にあたる「財政調整基金」は、突発的な災害により生じた減収の補てんや緊急を要する経費に備えるため、また、年間の財源の不均衡を調整するために設置している積立金です。令和元年度末においては、ガス事業会計の廃止に伴う資金貸し付けにより、前年度比で約4億円減少しました。令和2年度末には同貸付金の返還等により、23億円程度まで増加する見込みです。

にかほ市の財政状況

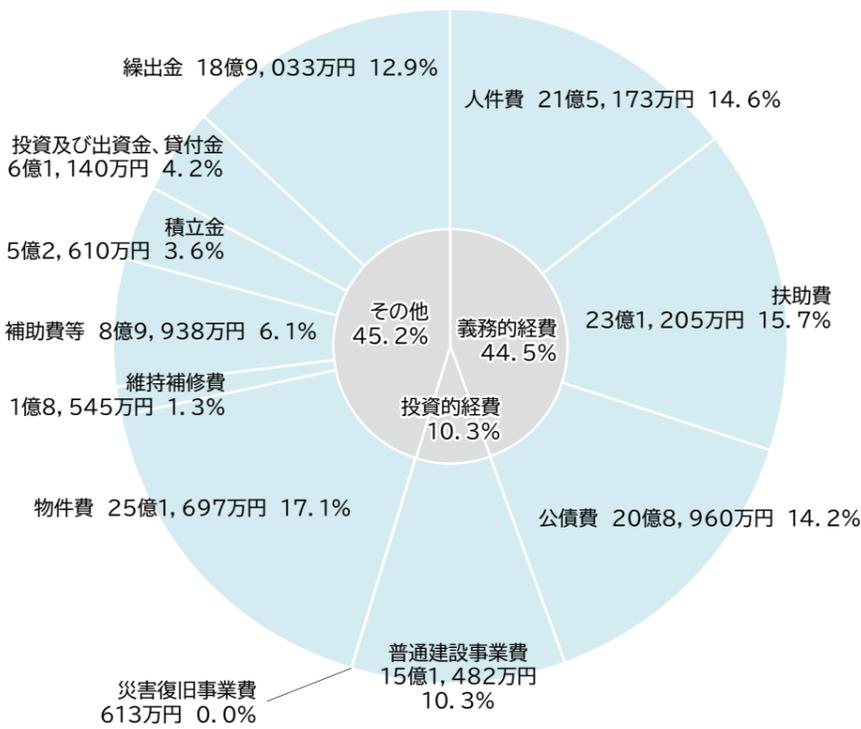


財政状況が良好かどうかを示す指標に健全化判断比率があります。国が示す判断基準により、市の財政が「健全団体」、「早期健全化団体(要注意)」、「財政再生団体(破たん)」のいずれの状態にあるかを判断することができます。にかほ市では、いずれの指標も「健全団体」とされる範囲内となっています。

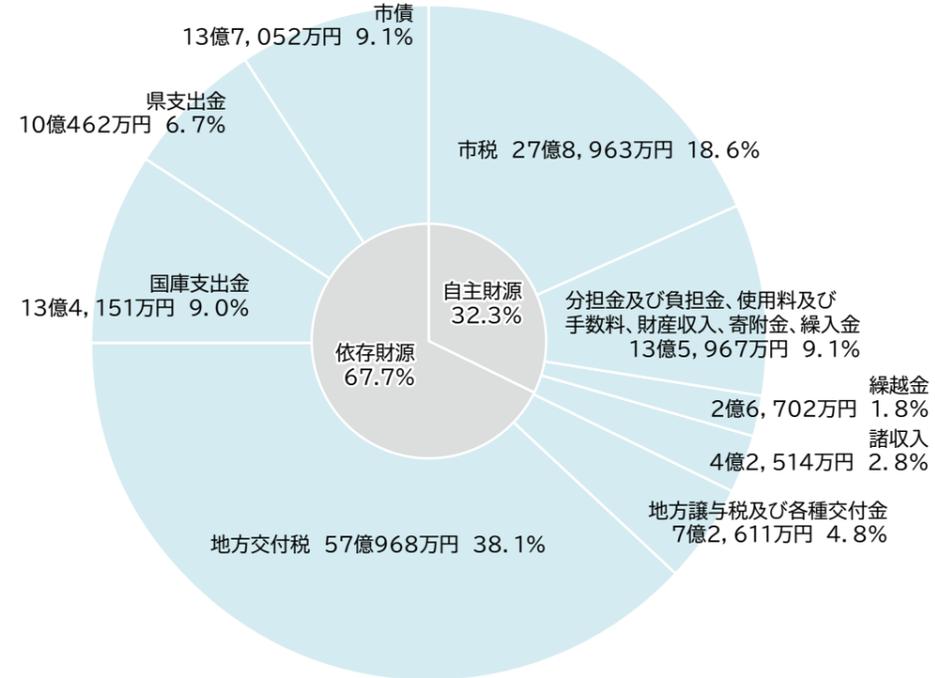
令和元年度の主な事業

- 1. 快適に暮らせるまち**
風力発電施設ゾーニング事業...4,618万円
象潟大竹線道路整備事業...3,373万円
橋梁補修事業...1億955万円
住宅リフォーム推進事業...1,081万円
消防団施設・機器整備事業...3,083万円
土砂災害ハザードマップ作成事業...548万円
- 2. 子育てしやすいまち**
保育料・副食費助成事業(市単独軽減分)...9,285万円
福祉医療費助成事業(市単独分)...4,669万円
母子保健事業(妊娠期からの相談支援)...495万円
象潟小学校プール施設改修事業...2,443万円
プログラミング学習推進事業...134万円
- 3. 高齢者が元気なまち**
高齢者声かけ見守り巡回事業...314万円
地域支援事業...2,559万円
- 4. 若者に魅力のあるまち**
移住・定住・Uターン促進事業...988万円
企業人材育成支援事業...163万円
- 5. 人と文化が豊かなまち**
3Dプリンタープロジェクト事業...153万円
象潟野球場改修事業...2,129万円
屋内運動施設整備事業...1億875万円
- 6. 稼ぐ力が強いまち**
メガ団地等大規模園芸拠点整備事業...4,417万円
農地集積加速化基盤整備事業...9,524万円
漁港施設・漁場整備事業...2,831万円
企業立地用地取得・造成事業...2億6,568万円
中小企業振興資金融資あっせん事業...4,807万円
誘客促進事業...902万円
- 7. 市民と行政が協働でつながるまち**
ふるさと特産品PR事業...1億7,344万円
旧上郷小学校利活用事業...2,034万円

一般会計 歳出 147億396万円



一般会計 歳入 149億9,390万円



令和元年度

決算

— 問 総合政策課 財政班 ☎43-7509 —

歳入総額	149億9,389万9千円...①	財政調整基金積立金	9,530万6千円...⑧
歳出総額	147億395万7千円...②	繰上償還額	3千円...⑨
差引(①-②)	2億8,994万2千円...③	財政調整基金取崩額	4億9,944万6千円...⑩
翌年度へ繰り越すべき財源	5,525万8千円...④	実質単年度収支(⑦+⑧+⑨-⑩)	△3億5,938万6千円
実質収支(③-④)	2億3,468万4千円...⑤		
前年度実質収支	1億8,993万3千円...⑥		
単年度収支(⑤-⑥)	4,475万1千円...⑦		

会計名	歳入総額	歳出総額	実質収支
国民健康保険(事業勘定)	29億5,364万円	29億3,622万円	1,742万円
国民健康保険(施設勘定)	1億1,283万円	9,596万円	1,687万円
後期高齢者医療	3億1,551万円	3億1,313万円	238万円
公共下水道事業	13億1,588万円	12億9,016万円	2,115万円
農業集落排水事業	4億4,457万円	4億3,724万円	733万円

会計名	収入額	支出額	
ガス事業	収益的	10億2,464万円	5億3,950万円
	資本的	1,854万円	1億9,116万円
水道事業	収益的	6億879万円	5億6,726万円
	資本的	2億2,763万円	4億1,887万円

※金額、数量は表示単位で調整しています。

令 和元年度の一般会計決算額は、ふるさと納税の増加やガス事業会計への貸し付け実施などにより、前年度と比べて歳入が約6億7,600万円、歳出が約6億5,300万円それぞれ増加しました。実質収支は、2億3,468万4千円の黒字ですが、

財政調整基金の取り崩しなどを考慮した実質単年度収支は3億5,938万6千円の赤字となりました。これは、ガス事業会計の廃止に伴う清算のための資金貸し付けにより、一時的に悪化したものであり、令和2年度決算においては黒字となる見込みです。

財政健全化法に基づく判断比率は、いずれも国の定める基準を下回っており、財政状況は「健全」な範囲にあるという結果となりました。

今後の見通しは、人口減少や新型コロナウイルス感染症拡大による市税への影響が懸念されるほか、地方交付税に於いても合併による特例加算が今年度で終了するなど、財政規模は縮小する見通しです。そのような状況下においても、さまざまな行政ニーズや課題に対応できるように行財政改革を推進しながら、効率的で効果的な財政運営に努めて参ります。



※資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てん